

## ●執筆要領

執筆要領にしたがって執筆し、仕上がりが同じ体裁になるようにする。

発表梗概原稿は聴講者に内容を徹底させ、併せて講演時間の短縮、かつ会員にも講演内容を速報報告するために PDF データで HP 公開する。

### 1. 用紙設定

白地の A4 判 2～4 ページとする。横書き 2 段組を原則とし、ワープロソフト等で上マージン 25mm、下マージン 22mm、左右マージン 15mm、1 段を 87mm（段の間隔 6mm）、1 ページあたり 48 行、1 段あたり 25 文字を基準（文字の大きさ 9.5pt 相当）として設定する。

### 2. 文字

和文は JIS 第一水準、第二水準の漢字を使用する。本文書体は、和文は明朝体、欧文は Times New Roman を用いることが望ましい。

### 3. 発表部門－細分類

例（2. 構造－1. 荷重・信頼性）のように記載する。

### 4. キーワード

発表申込書に記入したものと同一和文キーワード 3～6 個を必ず記述する。用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本とするが、適当な語がない場合はこの限りではない。

### 5. 記載方法

#### 1 ページ目上段

- ・1 ページ目上段に表題、会員種別・発表者名、発表部門－細分類、キーワードの順に記載する。
- ・表題は第 1 行に、本文より大きな文字で書く。
- ・会員種別・発表者名（連名の場合は講演発表者を筆頭に記し、氏名の前に○印をつける）は上段右側に寄せて書く。
- ・発表部門－細分類、キーワードは、上段左側に寄せて書きキーワードと本文の間は 1 行あける。

#### 1 ページ目下段（欧文表題・欧文発表者名）

- ・記載欄と本文の間に罫線を引く。
- ・欧文表題、欧文発表者名の順に記載する。欧文表題は左側に、欧文発表者名は右側に寄せて書く。
- ・欧文講演発表者名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓はすべて大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。

#### 最終ページ下段（和文所属・欧文所属）

- ・記載欄と本文の間に罫線を引く。
- ・和文所属（・学位）、欧文所属（・学位）の順に記載する。
- ・和文所属は左側に、欧文所属は右側に寄せて書く。

### 6. 図表および写真

図表および写真は適当と思われる場所にレイアウトする。

図表および写真は原稿に貼り付けた状態で PDF 化し、別ファイルにはしない。

## ●電子投稿用原稿作成上の注意

### 1. ファイル形式

電子原稿は、Adobe Acrobat Reader で表示または印刷可能な PDF (Portable Document Format) ファイルで提出する。PDF ファイル読み取り専用の Acrobat Reader では PDF ファイルに変換することはできないので、Adobe Acrobat をお持ちでない方はあらたに購入する必要がある。

### 2. ファイルサイズ (容量) の制限

ファイルサイズは、1MB 以内とし、ファイルは一つとし、圧縮ツールやセキュリティ設定は使用しないこと。

### 3. ファイル名について

ファイル名は、半角英数字とし、必ず拡張子 (.pdf) がついているファイルのみとする。

### 4. 提出方法

提出方法は、原稿提出専用の四国支部メールアドレスに送信する。

### 5. 作成するアプリケーションと OS

原稿を作成するアプリケーションの制限はないが、OS は Windows 11 以上を推奨する。

### 6. PDF ファイルの作成方法

PDF ファイルは、原則として Adobe Acrobat DC 以降 (または同等品) を用いて作成する。作成方法についてはソフトに付属のマニュアルまたはホームページ上の執筆要項を参照し、Acrobat の詳細は、(<http://www.adobe.co.jp/>)を参照すること。

### 7. 使用できるフォントの制限

投稿された PDF ファイルは Windows 上で稼働するため、原稿内に使用するフォントは以下に限定する。

OS            Windows

日本語フォント   MS 明朝または MS ゴシック

英字フォント      Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman

### 8. 使用できる文字

コンピューターの機種により文字化けが発生する可能性があるため、漢字コードは第二水準以内の文字を使用する。

### 9. 色使い

本文の文字を黒色とするほかは、色使いの制限は特にない。

ただしモノクロプリンターで出力したものを印刷原稿として利用する。色によっては明確に出ない場合がありますので十分注意する。

#### 10．写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF 化することにより、出力品質が劣化することがある。

ファイルサイズ制限内で、PDF 化する際のジョブオプションの値を高くして作成すること。

イラストや画像、数式、グラフ等を含む PDF ファイルの作成は PDF Writer でなく、Acrobat Distiller を使って変換すること。

#### 11．印刷の確認

作成した PDF ファイルは一度プリンターで印刷し、執筆者の意図どおり印刷されることを確認する。